

研究事業結果概要

地域高齢者の生きがいと健康づくりモデル構築に向けた
自助・互助機能活用とソーシャルキャピタル指標開発の研究事業

社会福祉法人東北福祉会 認知症介護研究・研修仙台センター
(報告書 A 4 版 270 頁)

事業目的

本研究は高齢者の生きがいと健康づくり活動の促進に関する活動が、地域における高齢者保健福祉施策の推進に及ぼす影響や効果を明らかにすることを目的とした研究である。

目的を達成するために、本研究においては、まず地域包括ケアシステム整備に向けた前提課題である、地域の持つ自助・互助に関する活動を円滑に、そして効果的に行われるための体制作りをになう地域包括支援センターの活動と役割の実態を明らかにした。また、住民の社会参加活動が健康や生きがいにどのような影響を及ぼしているかを明らかにした。そのために2002年度より当センターが介入しデータを集積している伝統的相互扶助関係が構築されている気仙沼市大島地区の住民を対象にして、ライフスタイルやソーシャルサポートの変容と詳細な縦断的データ(55歳以上住民1,000名の縦断調査)をもとに分析を行い、自助および互助の構築方法モデルを検討した。そして、こうした自助・互助を共助・公助と結びつける役割である地域包括支援センターが、住民に活動参加を促すこと、もしくはセンター自身が参加するために優先的に取り組む事項を明らかにするための指標「ソーシャルキャピタル自己評価尺度」を作成した。

事業概要

- 1) 設置委員会
 - ・地域高齢者の自助・互助機能活用に向けた社会参加モデル構築とソーシャルキャピタル指標開発の研究事業検討委員会
 - ・事例集作成作業部会
- 2) 鶴ヶ谷地区まちづくりと健康意識等に関する住民アンケート
 - (1) 対象者 仙台市宮城野区鶴ヶ谷地区住民 2,000名(回収880名)
 - (2) 方法 郵送による質問紙調査
- 3) 地域包括支援センターの地域連携体制づくりに関する調査
 - (1) 対象者 全国の地域包括支援センター 2,000カ所(回収659カ所)
 - (2) 方法 郵送による質問紙調査
- 4) 加齢と健康に関する調査
 - (1) 対象者 宮城県気仙沼市大島地区住民 424名(22年度分)
 - (2) 方法 訪問による面接調査
- 5) 地域包括支援センターにおける地域づくりとソーシャルキャピタル醸成に向けた取り組み事例の収集

(1) 対象者 モデル事業実施の承諾が得られた地域包括支援センター7か所、先駆的事例提供ならびに事例集執筆に承諾が得られた地域包括支援センター12か所

(2) 方法 説明会において、趣旨説明を行い、内容に同意が得られ、かつ地域包括支援センター全体として協力体制にある地域包括支援センターに依頼した。

調査研究の過程

調査実施の過程としてそれぞれについてその手続きを示した。

- 1) 鶴ヶ谷地区まちづくりと健康意識等に関する住民アンケート
(ソーシャルキャピタルと健康づくり調査)
2,000名の調査対象者の自宅住所がサンプリング台帳として必要である。また、地域づくりと健康との関連を見ていることから、仙台市宮城野区まちづくり推進課と協働で実施した。
- 2) 地域包括支援センターの地域連携体制づくりに関する調査
地域包括支援センター2,000か所を対象としており、サンプリングについてはWAM-NETから抽出した。
- 3) 加齢と健康に関する調査
気仙沼市大島地区を対象として2002年より55歳以上の住民を対象に実施している調査の追跡である。気仙沼市、大島老人クラブ連合会、大島地区各自治会の協力のもとに訪問調査を実施した。サンプリング台帳は選挙人名簿からの抽出である。
- 4) 地域包括支援センターにおける地域づくりとソーシャルキャピタル醸成に向けた取り組み事例の収集
モデル事業実施の承諾が得られた地域包括支援センター7か所、先駆的事例提供ならびに事例集執筆に承諾が得られた地域包括支援センター12か所、全19か所の地域包括支援センターから協力を得て実施した。

なお、平成23年3月12日に開催を予定していた「地域包括支援センターにおける地域高齢者の生きがいと健康づくりモデル構築研修会」は、東日本大震災のため中止とし、研修内容については、事例集の送付により補った。

事業結果

詳細は、事業報告書の()内に示した章において記載した。

- 1) 設置委員会
委員会を設置し研究事業の方向性を定めた。
 - ・地域高齢者の自助・互助機能活用に向けた社会参加モデル構築とソーシャルキャピタル指標開発の研究事業検討委員会
 - ・事例集作成作業部会
- 2) 地域包括ケア体制構築における、地域包括支援センターと住民の自助・互助の役割を明確化した(第2章)
- 3) 地域包括ケア構築に向けて地域包括支援センターが地域住民に向けてできるアウトリーチ機能の評価指標を作成し、その評価を行った(第3章)
- 4) 地域特性別の自助向上および互助機能向上のための指針を示した(第4章)
- 5) 社会参加が健康に及ぼす影響を縦断データより明らかにした(第5章)
- 6) ソーシャルキャピタルの観点でモデル的介入を実施しその成果を広めるために

事例集ならびにパンフレットを作製した（第6章）（成果物）

- 7) ソーシャルキャピタルを醸成するための事業の評価方法をロジックモデル活用のための指針として示した（第7章）
- 8) 地域包括支援センターのソーシャルキャピタル自己評価指標を開発した（第8章）

自分の事業所が、どの程度、地域住民に信頼されていると思いますか
自分の事業所が、どの程度、地域の団体に信頼されていると思いますか
自分の事業所は、どの程度、地域の団体や組織を信頼していますか
自分の事業所は、どの程度、地域住民を信頼していますか
自分の事業所は、どの程度、地域の団体(NPO法人、自治会・町内会、老人クラブ等)に期待していますか
業務上、過去3カ月に地域住民の人と介護や福祉の相談に関するかわりがありましたか
業務上、過去3カ月に他団体や他組織と一緒に仕事をしたり関わる機会がありましたか
あなたのセンターの仕事上の重要な外部の団体や組織はどの程度ありますか

- 9) 簡易版ソーシャルキャピタルの指標開発、指数化をし、属性別の評価を行った（第9章）

鶴ヶ谷地区の指数を算出した結果以下の指数を算出した。

この指数をもとに検討を進めた。なお、今後も引き続き調査ならびに地域介入を行うことを予定している。

つきあい・交流（ネットワーク）	信頼	社会参加（互酬性の規範）
- 0 . 0 0 6 4 2	0 . 0 0 2 7 5	0 . 0 3 8 9 9
総合指数		
0 . 0 1 2 0 3		

- 10) 成果物の作成

研究事業報告書（270頁）

事例集「地域包括支援センターにおける地域づくりとソーシャルキャピタル～地域の自助・互助機能を高めるための企画・実践・評価～」(193頁)

住民向けパンフレット「今注目される地域の力～地域包括支援センターを100倍活用する方法～」

事業実施機関

社会福祉法人東北福祉会 認知症介護研究・研修仙台センター
〒989-3201 宮城県仙台市青葉区国見ヶ丘6-149-1
電話 022-303-7550